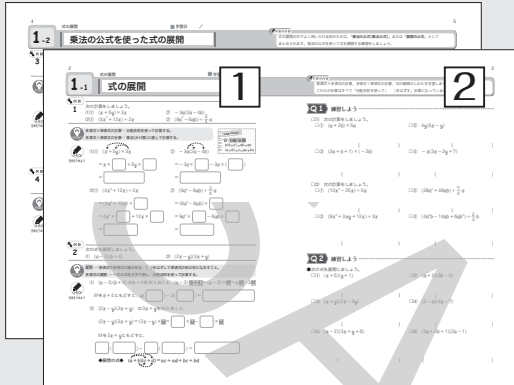


# 数学 中3

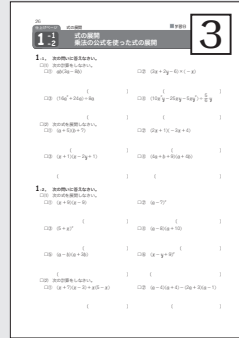
## 1学期のまとめ

この本の使い方 この本は、学習ページ(各4P)と仕上げページ(各1P)、巻末付録で構成されています。

### 学習ページ



### 仕上げページ



**1** 学習する単元の重要事項を確かめます。

- 例題** 学習する内容を例題の形で示しています。
- POINT** 覚える内容や問題を解くコツをまとめています。
- CHECK** **例題** の解き方をまとめています。  
□には数や式、○には語句や記号を書きましょう。

**2** **1** に対応する問題に取り組みます。

- 練習しよう** **例題** と同じ番号の問題を解きましょう。  
☆はやや発展的な問題です。

**3** 単元の学習を終えたら、仕上げページに取り組みます。

- 練習しよう** の問題が解けるようになっているかチェックします。

巻末付録

つなげよう! 入試にチャレンジ

全国の公立高校の入試問題のうち、毎年必ず出題される問題を中心に収録しています。各単元の学習を終えたあとに取り組んでみましょう。

## CONTENTS

**1** 式の展開 ----- 2~5

1-1 式の展開

1-2 乗法の公式を使った式の展開

**2** 因数分解 ----- 6~9

2-1 因数分解

2-2 いろいろな因数分解

**3** 平方根 ----- 10~13

3-1 平方根

3-2 平方根の表し方

\* 仕上げページ ----- 26~31

つなげよう! 入試にチャレンジ ----- 32~37

**4** 平方根の計算 ----- 14~17

4-1 平方根の計算

4-2 やや複雑な平方根の計算

**5** 2次方程式の解法 ----- 18~21

5-1 平方根や解の公式を使って解く

5-2 因数分解を使って解く

**6** 2次方程式の利用 ----- 22~25

6-1 2次方程式の解と定数/文章題

6-2 2次方程式と図形

# 1-1

## 式の展開

例題

1

次の計算をしましょう。

(1)①  $(x + 5y) \times 3x$

②  $-3a(2a - 4b)$

(2)①  $(4x^2 + 12x) \div 2x$

②  $(9a^2 - 6ab) \div \frac{3}{4}a$



単項式×多項式の計算… 分配法則を使って計算する。

多項式÷単項式の計算… 乗法(かけ算)に直して計算する。

これもcheck!

☆ 分配法則

$a(b+c) = ab+ac$

$(a+b) \times c = ac+bc$



空所をうめよう

(1)①  $(x + 5y) \times 3x$

$= x \times \square + 5y \times \square$

$= \square$

②  $-3a(2a - 4b)$

$= -3a \times \square - 3a \times (\square)$

$= \square$

(2)①  $(4x^2 + 12x) \div 2x$

$= (4x^2 + 12x) \times \square$

$= 4x^2 \times \square + 12x \times \square$

$= \square$

②  $(9a^2 - 6ab) \div \frac{3}{4}a$

$= (9a^2 - 6ab) \times \square$

$= 9a^2 \times \square - 6ab \times \square$

$= \square$

例題

2

次の式を展開しましょう。

(1)  $(a - 3)(b + 4)$

(2)  $(2x - y)(3x + y)$



展開… 単項式や多項式の積の形を、( )をはずして単項式の和の形になおすこと。

多項式の展開… 一方の式を1つの文字で表し、分配法則を使って計算する。



空所をうめよう

(1)  $(a - 3)(b + 4)$  の  $b + 4$  を  $M$  とおくと、 $(a - 3)(b + 4) = (a - 3) \times M = aM - 3M$

$M$  を  $b + 4$  にもどすと、 $a(\square) - 3(\square) = \square$

(2)  $(2x - y)(3x + y)$  の  $3x + y$  を  $M$  とおくと、

$(2x - y)(3x + y) = (2x - y) \times M = \square \times M - \square \times M$

$M$  を  $3x + y$  にもどすと、

同類項はまとめる!

$\square(\square) - \square(\square) = \square$

◆展開の式◆  $(a + b)(c + d) = ac + ad + bc + bd$

学習の内容

単項式×多項式の計算，多項式÷単項式の計算，式の展開のしかたを学習します。

これらの計算はすべて「分配法則を使って( )をはずす」計算になっていることを確かめましょう。

## Q1 練習しよう

□(1) 次の計算をしましょう。

□①  $(a+2b) \times 5a$

□②  $4y(5x-y)$

□③  $(3a+b+1) \times (-2b)$

□④  $-x(3x-2y+7)$

□(2) 次の計算をしましょう。

□①  $(10x^2-25x) \div 5x$

□②  $(28a^2+49ab) \div \frac{7}{4}a$

□③  $(9x^2+3xy+12x) \div 3x$

□④  $(4a^2b-14ab+6ab^2) \div \frac{2}{3}b$

## Q2 練習しよう

● 次の式を展開しましょう。

□(1)  $(x+5)(y+1)$

□(2)  $(a+2)(3b-4)$

□(3)  $(x+y)(2x-3y)$

□(4)  $(5-a)(4a-7)$

□(5)  $(x-2)(3x+y+6)$

□(6)  $(3a+2b+1)(2a-1)$

## 1-2

## 乗法の公式を使った式の展開

例題

3

次の式を展開しましょう。

(1)  $(x+2)(x+3)$

(2)  $(x+4)^2$

(3)  $(x-4)^2$

(4)  $(x+5)(x-5)$

乗法の公式 (1)  $(x+a)(x+b) = x^2 + (a+b)x + ab$ 

(2)  $(a+b)^2 = a^2 + 2ab + b^2$

(3)  $(a-b)^2 = a^2 - 2ab + b^2$

(4)  $(a+b)(a-b) = a^2 - b^2$



空所をうめよう

(1)  $(x+2)(x+3) = x^2 + (\quad + \quad)x + \quad \times \quad = \quad$

(2)  $(x+4)^2 = x^2 + 2 \times x \times \quad + \quad^2 = \quad$

(3)  $(x-4)^2 = x^2 - 2 \times x \times \quad + \quad^2 = \quad$

(4)  $(x+5)(x-5) = x^2 - \quad^2 = \quad$

例題

4

(1) 次の式を展開しましょう。

①  $(3x+1)^2$

②  $(x+y+6)(x+y-6)$

(2)  $(x-1)(x+2) + (x-2)(x+1)$  を計算しましょう。

(1) 単項式や多項式を1つの文字で表すと、乗法の公式が利用できる。

(2) 乗法の公式を使って式を展開してから、同類項をまとめて計算する。



空所をうめよう

(1)①  $(3x+1)^2$  の  $3x$  を  $A$  とおくと、 $(3x+1)^2 = (A+1)^2 = \quad$

$A$  を  $3x$  にもどすと、 $(\quad)^2 + 2 \times \quad + \quad = \quad$

②  $(x+y+6)(x+y-6)$  の  $x+y$  を  $M$  とおくと、

$(x+y+6)(x+y-6) = (M+6)(M-6) = \quad$

$M$  を  $x+y$  にもどすと、 $(\quad)^2 - \quad = \quad$

(2)  $(x-1)(x+2) + (x-2)(x+1) = \quad + \quad$

$= \quad$

学習の内容

式の展開の中でよく用いられる形のもの、**「乗法の公式(乗法公式)」**または**「展開の公式」**としてまとめられます。乗法の公式を使って式を展開する練習をしましょう。

### Q3 練習しよう

● 次の式を展開しましょう。

□(1)  $(x+5)(x+2)$

□(2)  $(x-6)(x-7)$

□(3)  $(a+3)^2$

□(4)  $(x+\frac{1}{2})^2$

□(5)  $(x-10)^2$

□(6)  $(x-\frac{1}{4})^2$

□(7)  $(x+8)(x-8)$

□(8)  $(4+a)(4-a)$

### Q4 練習しよう

□(1) 次の式を展開しましょう。

□①  $(2x-1)^2$

□②  $(5a-1)(5a+3)$

□③  $(a+b+3)(a+b-3)$

□④  $(x+y+1)(x+y+4)$

□(2) 次の計算をしましょう。

□①  $(x+7)(x-4)+(x+3)(x-1)$

□②  $(a+6)^2-(a+8)(a+4)$

□③  $3x(x-5)-(x-2)(x+7)$

□④  $(2x-y)(2x+y)+x(1-2y)$

# 2-1

## 因数分解

例題

5

次の式を因数分解しましょう。

(1)  $x^2 + 4xy$

(2)  $3ab - 12ac$



因数… 多項式を、単項式や多項式の積の形で表したとき、かけあわされている1つ1つの式。

因数分解… 多項式を、いくつかの単項式や多項式の積の形で表すこと。



空所をうめよう

(1)  $x^2 + 4xy$

$= \underline{x} \times x + \underline{x} \times 4y$

$= \boxed{\quad} (\boxed{\quad})$

(2)  $3ab - 12ac$

$= 3 \times a \times b - 12 \times a \times c$

$= \boxed{\quad} (\boxed{\quad})$

共通な因数をくくり出す

$\times 3ab - 12ac = a(3b - 12c)$

これもcheck!  
☆ 分配法則の逆  
 $ab+ac=a(b+c)$   
共通な因数は、すべて  
( )の外にくくり出す。

例題

6

次の式を因数分解しましょう。

(1)  $x^2 + 5x + 6$

(2)  $x^2 + 6x + 9$

(3)  $x^2 - 6x + 9$

(4)  $x^2 - 81$



因数分解の公式 (1)  $x^2 + (a+b)x + ab = (x+a)(x+b)$

(乗法の公式の逆) (2)  $a^2 + 2ab + b^2 = (a+b)^2$

(3)  $a^2 - 2ab + b^2 = (a-b)^2$

(4)  $a^2 - b^2 = (a+b)(a-b)$



空所をうめよう

(1)  $x^2 + \frac{5}{a+b}x + \frac{6}{ab}$

積が6	和	
1 と 6	7	×
-1 と -6	-7	×
2 と 3	5	○
-2 と -3	-5	×

$x^2 + 5x + 6$

$= (\boxed{\quad})(\boxed{\quad})$

(2)  $x^2 + \frac{6}{\text{半分の2乗}}x + 9$

$= x^2 + 2 \times x \times \boxed{\quad} + \boxed{\quad}^2$

$= (\boxed{\quad})^2$

(3)  $x^2 - \frac{6}{\text{半分の2乗}}x + 9$

$= x^2 - 2 \times x \times \boxed{\quad} + \boxed{\quad}^2$

$= (\boxed{\quad})^2$

(4)  $x^2 - \frac{81}{b^2}$

$= x^2 - \boxed{\quad}^2$

$= (\boxed{\quad})(\boxed{\quad})$

これもcheck!  $x^2 + \bigcirc x + \Delta$  の因数分解  
☆  $\bigcirc$ と $\Delta$ の関係に注目!  
 $\bigcirc$ の半分の2乗が $\Delta \Rightarrow$  公式(2)か(3)  
ある2数の和が $\bigcirc$ , 積が $\Delta \Rightarrow$  公式(1)

学習の内容

単項式の和の形を，多項式の積の形になおすことを「因数分解」といいます。

①共通な因数をくくり出す ②乗法の公式を逆に使う の2通りの方法をマスターしましょう。

### Q5 練習しよう

●次の式を因数分解しましょう。

□(1)  $ab + ac$

□(2)  $ax + bx + cx$

□(3)  $6x^2 + 18x$  ( )

□(4)  $15a^2b + 10ab^2$  ( )

( )

( )

### Q6 練習しよう

●次の式を因数分解しましょう。

□(1)  $x^2 + 7x + 6$

□(2)  $x^2 + 4x - 21$

□(3)  $a^2 - a - 30$  ( )

□(4)  $a^2 - 13a + 36$  ( )

□(5)  $x^2 + 2x + 1$  ( )

□(6)  $a^2 + 14a + 49$  ( )

□(7)  $a^2 - 4a + 4$  ( )

☆□(8)  $x^2 - x + \frac{1}{4}$  ( )

□(9)  $x^2 - 25$  ( )

☆□(10)  $100 - x^2$  ( )

**HINT** (8)  $x$ の係数 $-1$ と $\frac{1}{4}$ の関係に注目しよう。(10)  $100 = 10^2$ と考えよう。

## 2-2

## いろいろな因数分解

例題

7

(1) 次の式を因数分解しましょう。

①  $3x^2 + 15x + 18$

②  $x^2y - 6xy + 9y$

(2) 次の式を因数分解しましょう。

①  $25x^2 + 10x + 1$

②  $(x+y)^2 - (x+y) - 2$



(1) 共通な因数をくり出してみると、因数分解の公式が利用できる。

(2) 単項式や多項式を1つの文字で表すと、因数分解の公式が利用できる。

CHECK  
空所をうめよう

(1)①  $3x^2 + 15x + 18$

②  $x^2y - 6xy + 9y$

$$= 3(\quad)$$

$$= \quad (\quad)$$

$$= 3(\quad)(\quad)$$

$$= \quad$$

(2)①  $25x^2 = (5x)^2$  より、 $5x$  を  $A$  とおくと、

$$25x^2 + 10x + 1 = (5x)^2 + 2 \times 5x \times 1 + 1^2$$

$$= A^2 + 2 \times A \times 1 + 1^2 = \quad$$

 $A$  を  $5x$  にもどすと、 $\quad$ ②  $x + y$  を  $M$  とおくと、

$$(x+y)^2 - (x+y) - 2 = M^2 - M - 2 = \quad$$

 $M$  を  $x + y$  にもどすと、 $\quad$ 

例題

8

連続する2つの奇数の積に1を加えると、偶数の2乗になります。

このことを、 $n$  を整数として、 $n$  を用いた式を使って証明しましょう。

問題に出てくる整数を文字式で表し、式の展開や因数分解を利用する。

CHECK  
空所をうめよう(証明)  $n$  を整数とすると、連続する2つの奇数は、 $2n - 1$ 、 $2n + 1$  と表せる。

これらの積に1を加えると、

$$(2n-1)(\quad) + 1 = \quad + 1 = \quad = (\quad)^2$$

 $\quad$  は偶数だから、連続する2つの奇数の積に1を加えると、偶数の2乗になる。



学習の内容

共通な因数をくり出してから公式を利用したり、式を文字におきかえたりして、くふうして因数分解する方法を学習します。また、展開や因数分解を利用して、整数の性質などを証明してみましょう。

## Q7 練習しよう

●次の式を因数分解しましょう。

□(1)  $6x^2 - 18x - 24$

□(2)  $5x^2 - 80$

□(3)  $xy^2 + 12xy + 36x$

□(4)  $2a^2b - 20ab + 50b$

□(5)  $81a^2 - 49$

□(6)  $9x^2 + 6x + 1$

□(7)  $16x^2 - 24x + 9$

□(8)  $4a^2 - 20ab + 25b^2$

□(9)  $(x + y)^2 - 49$

☆□(10)  $(x + 6)^2 + 3(x + 6) - 54$

 HINT (10)  $x + 6$ を $M$ とおいて考えよう。 $M$ を $x + 6$ にもどした後の計算に注意しよう。

## Q8 練習しよう

●連続する2つの奇数の積に5を加えると、4の倍数になります。このことを、 $n$ を整数として、次のように証明しました。□□□□にあてはまる式を書きましょう。

□〔証明〕 $n$ を整数とすると、連続する2つの奇数は、 $2n - 1$ 、 $2n + 1$  と表せる。

これらの積に5を加えると、

$$(2n - 1)(\square) + 5 = \square + 5 = \square = 4(\square)$$

□□□□は整数だから、 $4(\square)$ は4の倍数である。

よって、連続する2つの奇数の積に5を加えると、4の倍数になる。